

## ブック

情報化・グロ  
ーバル化の進展  
に伴い、様々な  
分野で人工知能  
(AI)の導入が  
急速に進んでい  
る。

本書は、AI分野の創始者として世界的に有名な著者が、「AIが子どもの発達を補助するための道具として、教育の場でどのような役割を果たすか?」といった課題に着目して著した6つのエッセイと、そのエッセイに寄せられたコメントが記されている。

エッセイの「無限の組み立てキット」では、著者が子ども時代に感じた組み立てキットの魅力から、単純な部品であっても上手に組み合わせればどんなに複雑な構造物でも作り出すことができ、またその構造物全体の性質は使われた部品の性質から独立している、という知見を導き出し、「この性質は、脳と心とコンピューターにも適用できる」と結論づけてい

Marvin Minsky 著、大島芳樹 訳  
Cynthia Solomon, Xiao Xiao 編集  
2640円 オライリー・ジャパン  
☎03-3356-5227



### 創造する心 これからの教育に必要なこと

る。そして、「コンピューター・リテラシー」は、コマンドや命令や言語の文法だけを教えるのではなく、人々が言語を使って表現するもの、つまり、興味を持てるようなストーリー (narrative) から始めるべきだと主張している。エッセイ2の「数学を学ぶのはなぜ難しいか」では、「学校での数学教育は、子ども達が数学的アイデアを扱うための豊かな語彙を獲得していない」と学校算数の貧困な語彙力を指摘している。そして、九九の学習を例に挙げ、算数というのはひたすら続く機械的な作業と練習だと思

っている子どもたちに対して対話式の幾何のプログラムを提案し、「創造する心」を育てることが算数や数学の楽しさにつながることを示唆している。この他に「年齢別クラスの弊害」「教育と心理学」等のエッセイがあり、AIの活用から現在の教育全般に活かせるような興味深い内容となっている。

(愛知教育大学教授・高橋美由紀)